

金正日総書記死去

今そこにある危機——

朝鮮半島有事に備えよ

金正日総書記死去により、北朝鮮の暴発が危惧されています。わが国は、在韓邦人約3万人の存在を念頭に置きつつ、国民の生命・財産・安全を守るために朝鮮半島有事に備えなくてはなりません。そのために、幸福実現党は以下を提言します。

▶ 自衛隊による**在韓邦人救出**に向けた法整備を行う。

▶ **米軍普天間飛行場の移設**問題を早急に解決し、日米同盟を堅持する。

▶ 政府の憲法解釈を見直し、**集団的自衛権**を確立する。

▶ 憲法前文にうたわれた「平和を愛する諸国民」とは言いがたい隣国に対しては、**憲法9条の適用除外**とする。

▶ 竹島問題等には毅然とした対応を取りつつも、対北朝鮮に関しては**韓国との関係強化**を図る。

大川隆法が予測する2012年朝鮮半島情勢

北朝鮮——終わりの始まり——**霊的眞実の衝撃** 金正日・金正恩守護霊の霊言

金総書記死去の報道から一夜明けた12月20日。幸福実現党の大川隆法名誉総裁は幸福の科学総合本部（東京都品川区）で、「北朝鮮——終わりの始まり——霊的眞実の衝撃」と題して、金総書記と三男・正恩氏の守護霊の公開霊言を収録した。

霊言を受け大川総裁は、「私の予想だと、来年が北朝鮮の崩壊の年かもしれない」と述べ、北朝鮮、さらに中国の民主化を促し、世界の自由と平和を実現する決意を明らかにした。

※「霊言」とは、あの世に存在している霊を大川隆法総裁が招き、総裁の肉声を通じて霊に自由に語らせる現象をいう。「守護霊」とは、本人の潜在意識、本心とも言える存在で、あの世から本人を守護している。